

## 大変だった2月 byひらてつ院長

みなさん、こんにちは。ひらてつ院長です。

今年の2月はソチオリンピックに2度にわたる大雪で記憶に残る月になりましたね！

ソチオリンピックは嬉しい結果も残念な結果もありましたが、やはり選手のそれまでの思いや努力を考えると感動します！選手みんなに金メダルですね。

ひらの歯科医院を開業したのが平成10年3月。当時長野オリンピックのメダルラッシュで日本中が盛り上がっている中、開業準備をしながら白馬まで応援に行ったことを思い出しました。次回は韓国、平昌で開催です。直接応援に行きたいものです。

選手みんなにあげたいですね



話題はかわって2度にわたる大雪について、みなさんも雪かき大変だったと思います。そんな中、とくに2回目の大雪だった2月15日土曜日はバスも止まっていたためスタッフは自宅や湘南台駅から1、2時間かけて徒歩で出勤してくれました。感謝です。そして、さらに感動したのがご近所の方々が自宅周りの雪かきも大変なのに、診療所周りの歩道や駐車場の雪かきをしてくれたことです！あらためて地域の方々に支えられてひらの歯科医院は成り立っているんだなと実感しました。

みなさん、ありがとうございました！！

今年も気が付けばもう3月。桜が待ち遠しいですね。

今月は年長の娘の卒園式があります。

泣いてしまいそうなのでマスク持っています！



ありがとうございました



子供たちは大喜びですね

歯で困ったら ☎ 0466-49-1382まで！

ひらの歯科医院 藤沢市菖蒲沢611-1

月曜～土曜 9:00～13:00/14:30～18:30 (木曜日は～17:00) 休診：土曜午後・日・祝



## 鈴木改め遠藤です！ byDr遠藤

まだまだ寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか？

私事ながら昨年末入籍しまして、今月末の挙式に向け只今準備中です！

さて、少し気が早いですが、結婚すると考えてしまうのが子どもの事ですね。

私は歯科医師の父、看護師の母という家庭環境に加え、唾液検査にて細菌の数も少なく、唾液の質も良好という事でむし歯は少ないのですが、顎の大きさに対し歯が大きすぎたため歯が並びきらずに永久歯を3本(1本はもともとありませんでした)抜いて歯列矯正を行いました。

主人はといいますと、若干むし歯になりやすい口腔内環境らしく、子供は私に似れば矯正、主人に似ればむし歯のリスクがあるのかな？と今から心配しています。ただ、今は3DSというむし歯菌や歯周病原菌に対する新しい治療法も当院でも取り入れておりますので、利用しようと考えています。風疹ワクチンも打ちに行ってみりました。みなさんも人生の節目にご自身の体について考える機会を持ってみられるのもよいかもしれませんね



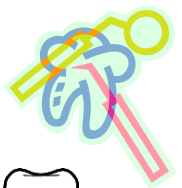
## おすすめケアグッズ！ byひらてつ院長

デンタルフロスに続き、今月は歯間ブラシをご紹介します。

デンタルフロスの紹介でもお話ししましたが、歯と歯の間の歯垢は歯ブラシだけでは決して除去できません。そこで、歯間清掃用のデンタルフロスや歯間ブラシが必要になります。特に今回紹介する歯間ブラシは、歯と歯の間の歯肉に隙間がある方には是非使っていただきたいケアグッズです。歯ブラシだけ頑張っても歯と歯の間に磨き残しがあれば、そこから歯周病やむし歯になってしまいます。ただし、歯間ブラシはサイズ選びが大切なので、かかりつけ医院の歯科衛生士にサイズ選びをしてもらってください。あわせて、歯間ブラシ用のジェルも是非使ってみてください。



歯間ブラシと専用ジェル



## こだわりの設備～診療用拡大ルーペ～

ひらの歯科のドクターが虫眼鏡みたいなものを付けて診療しているのを見たことがある方も多いと思います。あれは拡大鏡と言って、治療する歯を大きく拡大して見ているのです。肉眼では見つけることのできないむし歯や歯石などの汚れ、歯に入ったヒビなども見つけることができ、治療の精度が格段に良くなります。拡大倍率も2.5～8倍と見たいものによって使い分けています。



みなさんからは目が大きく見えるかな?



## 入れ歯とブリッジって違うの?～よくある勘違い～

患者さんとお話をしていて、よくあれっ?と思う勘違いに入れ歯とブリッジの違いがあります。簡単に一言で説明すれば、ご自分で取り外しができるものが「入れ歯」、固定式でご自分では取り外しができないものが「ブリッジ」です。治療時には必ず確認はしますが、両者は構造や製作方法(歯を削る、削らないなどの大きな問題)が異なりますので治療をご希望の方は注意が必要です。自分では固定式の歯が良かったのに、できあがったらと取り外し式の「入れ歯」だったとか、逆に取り外し式の歯で良いからなるべく歯を削らない方が良いのに固定式の「ブリッジ」を入れるために歯を削られたとか、話の食い違いがあったら大変ですからね・・・。



バネが付いているのが入れ歯(取り外し式)



ブリッジはセメントで固定します



## 根の治療ってどんな治療?



なんで根の治療が必要なの?

患者さんから「なんで何回も根の治療に通わなければならないの?」

「いつ終わるの?」「なんで神経がないのに痛くなるの?」と敬遠されがちな「根の治療」。歯を家にたとえると、根は柱です。家を支える柱が腐って家がガタついたら柱を直さなければなりません。根の治療はそんな大切な基礎工事と同じなのです。今回は根の治療に対する質問にQ&A形式でお答えします。

### Q1、神経がある歯とない歯はどう違うの?

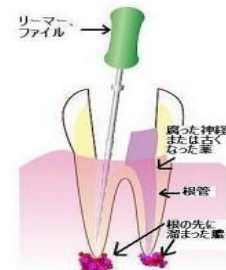
A、普段の生活では不都合に感じるような大きな違いはありませんが、神経をとった歯は弾力がなく、もろいため割れやすくなっています。(そのため冠をかぶせて補強します) また神経をとると、歯が茶色く変色してきます。

### Q2、神経をとってある歯なのに、どうしてまた痛くなるの?

A、詰め物や冠との隙間などからむし菌が侵入したり、以前の治療の際に残ってしまった少量の菌が根の中で増えると歯を支えている歯根膜(歯周組織=歯肉)に炎症を起こすため、痛みが出ます。

### Q3、根の治療はどうして1回で終わらないの?

A、根の形態は複雑で、我々歯科医師には根の中直接すべてを見ることはできません。さらに奥歯には根が複数本ありますので確実に根の中の汚れをファイルと呼ばれる針のようなヤスリを用いてきれいに取り除き炎症をひかせるためには何回か消毒が必要となります。



### Q4、痛なくなってきたので放置してしまいました。どうなりますか?

A、痛くなくても早急に治療を再開してください。治療中は仮の蓋になっています。再び細菌が侵入して炎症を引き起こします。最悪の場合抜歯になります。

根の治療はとても大切な治療です。根気よく!!